

トマト倶楽部 オンライン相談会 Q&A 2024

Q (kazuyosiさん) あまりお水をやりすぎないことが大事と聞きますが、他にも植えているものがあり、毎日お水をあげていました。甘くならない根腐れするといいますが…	A	育てた事のある野菜を見る限り、『地植え』でしょうか。。。仰る通り、お水をあげ過ぎると、味が薄くなり、根腐れになり易くなります。地植えの場合は、マルチ、藁をしていれば基本水やりは不要です。水を求めて根が地下へ伸びていきます。日照りが続くときだけ、お水を上げてください。プランターの場合は、水はけの良い土なら毎日水やりしましょう。判断に困る時は、持ち上げてみましょう。
Q (min815さん) 気になって水をあげすぎてしまいます。種類にもよると思いますが、どの位が適正なのでしょう？	A	プランター栽培でしょうか？水はけの良い土であれば、着果後は、毎日水やりで問題ありません。ただ、日が当たらない場所は、多過ぎてしまいます。一度、プランターを持ち上げてみましょう。表面が乾き、軽く感じたら、水が不足している目安です。
Q (seikyouさん) たくさん実がつく秘訣を知りたい。	A	昨年は、酷暑で花が咲いても実が付かない方が多かったと思います。花を揺らして受粉を促進させたり、トマトーンなどを使うと実が付きやすくなります。
Q (きつみさん) 家庭菜園でトマトを育てていますが、テントウムシダマシという虫がついてしまいます。無農薬で虫害を防ぐ良い方法がありますか。今は苗が小さいので、捕殺と唐辛子スプレーで対処していますが、効果があるのかわかりません。	A	テントウムシダマシは、厄介ですよ。近くにジャガイモを植えていませんか？ジャガイモが近くにあると特に寄りやすいです。私はジャガイモを寄っている時に、農薬でやっつけています。(ジャガイモ地中にありますので、かかる心配もないので)多量に発生すると無農薬だと厳しいです。。。
Q (みんなぎょうざさん) ベランダが西向きで、玄関が東向きです。そういう向きでも育てやすい野菜があったら教えてください。	A	日が当たらない場所は、葉野菜がおススメです。モロヘイヤはどうでしょうか？アブラナ科野菜と比較し、虫も付きにくく、何度も収穫できます。採れたてのネバネバは格別ですよ。種からは大変ですので苗から開始しましょう。
Q (のーんさん) トマトを美味しく育つポイントは？	A	美味しいトマト食べたいですね？美味しく感じるのは、瑞々しさ、柔らかさ、甘みと酸味のバランス、色々あると思います。甘くする為には、水を少なくします。しかし、皮が厚くなります。水を与え過ぎると、味が薄くなります。バランスが重要です。プランターの場合は、水はけが良い土に植え、日当たりが良いところまで毎朝たっぷりお水をあげましょう。毎週、液体肥料をあげる事も忘れずに。。。。
Q (jasmine69さん) 鉢植えで栽培する際、支柱にぐるぐる巻くのがうまくいかず、昨年は折れてしまいました。うまく巻くコツを知りたいです。	A	上手巻くコツは、2つです。 ①朝ではなく、昼作業をする事 朝は茎が瑞々しく、折れやすいです ②長くなってから、誘引する事 伸び途中で誘因紐で縛ると、自身が伸びて折れてしまいます
Q (ffさん) どうしても西日が当たってしまう場所なのですが、栽培に問題はないでしょうか？また、鉢植え栽培のコツを知りたいです。	A	皮が薄いトマトなどは、日焼けなどを起こすかもしれません。葉を多めに残し、果実が葉に隠れるようにすると皮が硬くなるのを防げます
Q (夢百合草さん) とまとは水に弱いといい、栽培する方はビニール等で覆いますが私はしません。差があるように思いません。畑で栽培です。	A	雨避け栽培の事を仰っていると思います。雨除けする事で、病気にかかりにくく、トマトが割れにくくなります ◆病気 野菜は、雨が地面に当たった時の跳ね返った水で病気にかかる事が多いです。雨除けすると、病気を軽減できます。 ◆割れ トマトを水の張ったポウルに入れると割れている事がありますよね？同様に雨に当たり過ぎると割れてしまいます。
Q (まるむぎさん) 毎年ベランダでミニトマトを育てています。枝が高くなりすぎてしまい、どうしたら良いのかこまっています。ベランダで栽培する際の管理方法を教えてください。宜しくお願いします。	A	行灯仕立てがおススメです。支柱を4本立てて、巻いていきましょう。巻きつけるのは、昼が良いです。朝は、枝が瑞々しく折れやすいです。

<p>Q (とんぼさん) トマト栽培で、どうしても黒くなり、腐ってしまう。</p>	A	<p>お尻が黒く腐る事を尻腐れ病といいます。 中玉、大玉トマトで良く発生します。 病気ではなく、生理障害です。 水不足でカルシウムが吸えない結果、発生します。 畑の場合は、マルチをすると保水され、発生が抑えられます。</p>
<p>Q (TAM&TAMさん) トマト栽培は水をやり過ぎない方が良いと聞きましたが、加減がわからないので教えて欲しいです。</p>	A	<p>プランター栽培でしょうか？ 水はけの良い土であれば、 着果後は、毎日水やりで問題ありません。 ただ、日が当たらない場所は、多過ぎてしまいます。 一度、プランターを持ち上げてみましょう。表面が乾き、 軽く感じたら、水が不足している目安です。</p>
<p>Q (山田の案山子さん) 初歩的な質問ですが、水は、朝夕方どの位の量ですか又肥料は何を？教えて下さい？</p>	A	<p>水は、朝が一番良いです。 酷暑の場合は、昼あげることもあります、 水が葉の上でレンズの様になり、焼けてしまう事がありますので、 株元にあげましょう。 肥料は、固形肥料なら2～2週間に1回、液体肥料なら毎週です。</p>
<p>Q (demika0131さん) 有機肥料だけで育てたいのですが、厳しいでしょうか。</p>	A	<p>有機肥料でも育ちます。 化成肥料と比較し、ゆっくり長く効くのが特徴です。 早め早めの施肥を心掛けましょう。 鶏糞などは、即効性があります。</p>
<p>Q (のほほ～んさん) トマトの表皮がかたくならないように育てたいです。 あまり水を上げない方が良いと聞きますが、本当ですか？ よろしく願いいたします。</p>	A	<p>経験作物から推測すると、地植えをされていると思います。 水が少ないと実を守ろうと皮が硬くなります。 マルチなどをしっかり敷き、保水すると良いと思います。 品種で選ぶのも1つの手段です。 カゴメの薄皮トマトなどは、皮が薄いのでお勧めです。 皮が薄い分、葉も薄いので、風に振り回されると 葉が傷みやすいので、ご注意ください。</p>
<p>Q (erimamaさん) トマ凛々子は、他のトマトの育て方での違いを教えてください。</p>	A	<p>凛々子は、芯止まり品種のため、高さが60cmくらいで止まります。 芽かきをすると、収量が減ってしまいます。 プロは、1株から100個以上実を収穫します。 一斉に花が咲き、実が付くため、肥料不足に気を付けましょう。</p>
<p>Q (Koalakkoさん) リコピンrichの品種(遺伝子組換え操作さん)の安全性</p>	A	<p>加工用のトマトは、リコピンが多いです。 遺伝子組み換えではなく、 交配で品種開発を行っていますので、ご安心を。。</p>
<p>Q (coop.12301988さん) プランターでたくさん収穫する方法や夏場に2、3日外出する時の水やりはどうしたらいいのを知りたい</p>	A	<p>沢山収穫する方法として、咲いた花を結実させること、 樹を健康にし、長く収穫する事です。 酷暑の場合、花が咲いても実にならない事があります。 花を揺らしたり、トマトーンなどでしっかり結実させましょう。 花、樹をしっかり保つには、栄養が大切です。毎週、液体肥料をあげましょ う。 数日間、水を上げられない場合の便利グッズがネットでも売っています。 ご活用ください。</p>
<p>Q (ひだまりちゃんさん) トマトはうまく実がならず、ナスは虫がついてしまい断念。どうしたら うまく育てられますか</p>	A	<p>昨年は、酷暑で花が咲いても実が付かないという方が多かったです。花を 揺らしたり、トマトーンで結実させましょう。 ナスの虫は、アブラムシやハダニではないでしょうか？ 農薬でやっつける事も出来ますし、牛乳を吹き付けても退治できます。</p>
<p>Q (エステルさん) 昨年栽培したトマトは、完熟と同時ぐらいに腐り始めてしまいました。 腐った所をカットすれば美味しく食べられましたが、考えられる原因 はどんなことでしょうか？</p>	A	<p>経験作物から推測すると、地植えをされていると思います。 お尻が黒く腐る事を尻腐れ病といいます。 中玉、大玉トマトで良く発生します。 病気ではなく、生理障害です。 水不足でカルシウムが吸えない結果、発生します。 畑の場合は、マルチをすると保水され、発生が抑えられます。 皆さん、畑には石灰をいれているため、 カルシウムが不足しているより、水が不足し据えていない方が多いです。</p>
<p>Q (まっすんさん)大玉トマトは家庭菜園で作るとなかなか食べるまで には栽培出来ないのはなぜなのでしょう？ 雨よけつけても1～2個しかならず、食べ頃には実割れし、かびたりし ています。 なので、プチトマトしか作らなくなりました。 プチトマトとミニトマトの違いってありますか？</p>	A	<p>ミニトマト、中玉、大玉と難易度が上がっていきます。 中玉、大玉になると、花房あたりに着果数が決まっています、 摘花する必要があります。また、求めるカルシウムが多く、 不足するとお尻が黒く腐っていきます。 次は、ミディサイズ、中玉にチャレンジされては如何でしょうか？</p>

Q	(みろりんさん)実をたくさんならす方法が知りたい。 葉っぱが病気になってしまったときはどうしたらよいか知りたい。 栄養のやり方、種類	A	<p>沢山収穫する方法として、咲いた花を結実させること、樹を健康にし、長く収穫する事です。 酷暑の場合、花が咲いても実にならない事があります。花を揺らしたり、トマトーンなどでしっかり結実させましょう。花、樹をしっかりと保つには、栄養が大切です。 肥料は、液体肥料なら毎週、固形肥料なら2~3週間に1回あげましょう。肥料は市販されているものでOKです。</p> <p>病気に侵された葉は、取り除いてください。 トマトは、下の葉をどんと取り除く必要があります。</p>
Q	(だらりんさん) 初めのうちはわき芽をとる作業をしていますが、しばらくすると、どれがわき芽かわからなくなってジャングルになってしまいます…わき芽を見極める何かコツはありますか？	A	<p>トマトは、90度ずつ葉がついていきます。そして、葉の付け根から出るのが脇芽です。主枝を決め、寄り添うに支柱を立てると解りやすいと思います。 脇芽をとらなくても良い品種もありますので、そちらもおススメです。</p>
Q	(tikuさん) ミニトマトの苗を植えばなしにしています。 鈴なりに実がなりますが、甘みが足りなく美味しくありません。 美味しいミニトマトにするための必要な作業を教えてください。 また、摘心はどうすると良いのでしょうか。	A	<p>甘みが足りないという事は、水が多いと思います。 (トマトは梅雨時は、味が薄くなります) 放任との事ですが、地植えでしょうか？ 水はけの良い場所に植えると、味が変わると思います。 摘心は、8月中旬くらいに、頭のてっぺんを摘んでしまえばOKです。</p>
Q	(しろうさぎさん) 家庭菜園でトマトを作っています。 大玉トマトのヘタの部分から割れてしまうものが多いです。 原因と対策を教えてください。	A	<p>トマトが割れる理由は、強い日差し、寒暖差など色々ありますが、一番は、雨です。 雨が降る事で、果実に当たり割れたり、土壌から急激に水分を吸い上げた結果、水風船のように割れます。 雨避けなどすると軽減できます</p>
Q	(あだっち55さん) 芽かきの仕方がよく分からない。	A	<p>葉の付け根出ている脇芽を、晴れた日に1~2cmくらいの大きさで手で取り除きます。</p>
Q	(東京かとちゃんさん) 鉢植えでの栽培方法のポイント。 組み合わせの植物、相性。	A	<p>たっぷりの土で栽培する事が成功のコツです。 根がしっかり張れる環境になり、果実が沢山ついて水や肥料を吸い易くなります。 組み合わせの植物として、同じ科の野菜を近くに植える、置くのは避けましょう。虫が寄りやすく、病気が移りやすくなります。</p>
Q	(こーちゃんままさん) うどんこ病を発症したときの土は廃棄した方がいいですか？毎年うどんこ病を発症してしまい、困っています。(トマトはなりません。キュウリ、カボチャ、いちご、えんどう豆などさん)	A	<p>土のリサイクルは可能です。 根を取り除き、水を少し入れた透明なビニール袋に入れます。 太陽光に当てると、高温になり、虫、卵、菌が死滅します。 リフレッシュ剤などで再利用してください。 ウリ科の野菜は、どうしてもうどんこになりやすいです。 今年、カゴメの新商品「たくまくん」は、うどんこに強い品種です。 お試しください。</p>
Q	(kun-kunさん) 基本栽培はプランターですが庭で栽培する場合との気を付けなければいけないポイントはありますか？	A	<p>それぞれの長所は、プランターは移動できること、 地植えは、マルチをしていけば、基本水やりが不要なところ。 プランターは、水不足、肥料不足に注意しましょう。 地植えは、日当たり、風通しが良いところで栽培しましょう。</p>
Q	(yamamichiさん) 虫がつかない方法	A	<p>ネットで囲う事、肥料を与え過ぎない事です。 アブラムシは、栄養過多に寄ってきます。</p>
Q	(チロルさん) カゴメトマトの土でミニトマトを栽培中です。実がなるまでの間、水やりのタイミングや頻度を教えてください。昨年は上手く育てられませんでした。	A	<p>栽培、ありがとうございます。 株が小さい時は、表面が乾いたら水やりを。 日当たりがよいところであれば、花が咲いた後は、毎朝水やりしましょう。 鉢を持ち上げ、軽い感じの場合は、と水が不足しています。 定期的に持ち上げて確認しましょう。</p>
Q	(こすもす.さん) とまとの立て方(1本立ち、2本立ちさん)の方法。 ナスの木が大きくなりたくない。大きく育てる方法。	A	<p>植えている作物から、畑で栽培されていると思います。 ◆トマトの仕立て方 ・1本仕立ては、出てくる脇芽を全てとればOKです ・2本仕立ては、第1果房の1個下の脇芽を伸ばしましょう ◆ナスの樹が大きくなりたくない理由 ・ナスは、トマトより難易度が高い野菜です ・肥料は多めにあげましょう。 ・第1花房は、花が咲いたら直ぐにの取り除きましょう</p>

Q	<p>(いくりんさん) 今年初めてトマトの苗を育てることになりました。プランターです。諸々のことがあって忙しく、あまり手をかけてあげられません。毎朝水をあげることに他に最低限やった方がよいことを教えてください。</p>	A	<p>日当たりの良い場所に置きましょう。 ◆水やり 株が小さい時は、土の表面が乾いたら水やり、花が咲き始めたら、毎朝水やりが基本ですが、土の表面が十分湿っているのであれば、数日に1回でOKです。 ◆芽かき 脇芽を摘んで1本で伸ばしていきましょう。 ◆肥料 着果したら、週に1回液体肥料をあげましょう。</p>
Q	<p>(vitaminさん) 初心者におススメの簡単に育てられる野菜を教えてください。</p>	A	<p>栽培期間が短く、虫が付きにくい野菜が良いかなと思います。サニーレタスなど如何でしょうか？果菜類だと、ミニトマトが良いと思います。ミニトマト、中玉、大玉トマトと難易度が上がっていきます。</p>
Q	<p>(あかさたなはまやさん) 長期に実がなるか、沢山実がなる方法は？やりようによって、実のなる数は、かなり違いが出るのでしょうか？1プランターに、いくつまで苗を植えるのが良いのでしょうか？</p>	A	<p>沢山収穫する方法として、咲いた花を結実させること、樹を健康にし、長く収穫する事です。酷暑の場合、花が咲いても実にならない事があります。花を揺らしたり、トマトーンなどでしっかり結実させましょう。花、樹をしっかり保つには、栄養が大切です。肥料は、液体肥料なら毎週、固形肥料なら2～3週間に1回あげましょう。肥料は市販されているものでOKです。 植え付ける野菜によって、作付可能数は変わりますが、トマトなどのナス科の野菜は、1株です。</p>
Q	<p>(onicyanさん) 今年一軒家に越したことを機に、初めてトマトの栽培を始めました。KAGOMEさんのトマトの土、あまたんと、がるんどの苗を購入？ベランダで栽培しているのですが、日当たりや水やり等で気をつけることはありますか？また、まだ先ですが収穫のタイミング等も知りたいです。</p>	A	<p>ご購入ありがとうございます。日当たりがよければ、花が咲いたら毎朝水やりが基本です。土の表面が十分湿っていれば、数日に1回でもOKです。がるんは、薄皮トマトで皮が薄過ぎるため、一般には流通しないトマトになります。皮が薄い分、葉も薄いので、強い風で葉が傷むことがありますので、室外機の傍にはおかないようにしてください。強い日差しに当たり過ぎると皮が硬くなってしまいます。葉は多めに残しましょう。あまたんは、背が大きくなりません。葉が茂って水が地面に届いていない事がありますので、土の表面をご確認ください。実が結実したら、1.5か月で収穫できます。</p>
Q	<p>(goppeさん) 昨年初めてベランダのプランターで、ゴーヤ栽培に挑戦しました。暑かったせいか、プランターが小さかったのか、花が終わって小さなゴーヤがいくつかつきましたが、1個だけしか大きく(15cmさん)なりません。ベランダプランター栽培の注意点など教えてください。</p>	A	<p>ウリ科の野菜は、根が浅いです。よって、水不足に敏感です。大きいプランターを用意し、チップなどでマルチングをし、保水に心掛けましょう。</p>
Q	<p>(友ちゃんさん) この度、キャンペーンのトマト苗プレゼントで当選しまして凛々子苗二本が届きました。トマト大好きなので大喜びです。ありがとうございます。地這えトマトは初めてです。色々な野菜作りに挑戦しても病気？や害虫？が付くとお手上げです。野菜作りはなかなか難しいです。</p>	A	<p>ご当選おめでとうございます。凛々子は、カゴメのトマトジュースの原料になるトマトです。芯止まりで沢山実が付きます。プロは、1株で100個以上(約10kg)のトマトを収穫します。解らない点があれば、カゴメの苗相談室などもご活用ください。</p>
Q	<p>(ともやくんさん) 1本を何センチまでのばせるか・</p>	A	<p>トマトは多年生の植物ですので、温室等では10m以上育てます。ただ、伸びた分だけ、維持する技術が必要となります。</p>
Q	<p>(あっちゃん08さん) 梅雨を挟むと栽培が面倒くさくなり放置しがちで毎年伸び放題になります。上手く長さを調整したりするにはどうすればいいでしょうか。</p>	A	<p>梅雨時に目を離すと、脇芽がわからなくなりますよね。芽かき不要のトマトもありますので、是非栽培してみてください。なお、成長が遅いもの(晩生種)のトマトですと、長さ調整が楽になります。</p>
Q	<p>(ぼーきんさん) これまでに何度かミニトマトの栽培に挑戦しましたが、いつも皮が厚くかたくなってしまいます。どうしたら柔らかくて甘いトマトを育てることができるのでしょうか？</p>	A	<p>皮が厚くなる理由は、水不足です。皮が厚い分、甘かったのではないのでしょうか？水をしっかりと与えると薄くなります。しかし、与え過ぎると味が薄くなりますので、バランスが難しいです。カゴメの薄皮トマトは、皮が薄いです。是非、チャレンジしてみてください。</p>

Q	<p>(はんぞうさん) 毎年ミニトマトを育てています。水はぎりぎり(葉がしんなりするさん)までやらない方が甘くなる、と聞きますが、栽培中のどの段階でそのようにすればよいのでしょうか？ また、できあがったミニトマトは市販品よりも皮が固いのですが、柔らかい食感のミニトマトを作るコツを教えてくださいませんか？</p>	<p>A</p> <p>水が不足すると、トマトは実を守ろう、魅力的になろうと皮は厚く、実は甘くなります。 このバランスが難しいです。 柔らかい食感のトマトをご所望であれば、カゴメの薄皮トマト『ぷるるん』を栽培してみてください。 皮が薄過ぎて、流通しないものです。 サクランボも間違う方もいらっしゃいます。</p>
Q	<p>(イコさん) 今年は苗を2本買いました。 育ち具合が違って、1本はひょろっと長く、1本は小さいのに、もう花がついています。 この違いって、今後の育て方に関係しますか？ たとえば、日当たりとか水やりとか、変えた方がいいのでしょうか？</p>	<p>A</p> <p>◆ひょろっと長い苗 日照不足だと思えます。 ◆小さいのに花が咲いている 実は付いていませんか？付いているのであれば、老化苗です。 今の状態だと実に栄養が取られ、樹が大きくなりません。 勿体ないですが、除去して樹を大きくしましょう</p>
Q	<p>(グーちいママさん) 甘くて美味しいトマトの作り方</p>	<p>A</p> <p>甘くする為には、水を少なくします。しかし、皮が厚くなります。 水を与え過ぎると、味が薄くなります。 バランスが重要です。 プランターの場合は、水はけが良い土に植え、 日当たりが良いところまで毎朝たっぷりお水をあげましょう。 毎週、液体肥料をあげる事も忘れずに。。。</p>
Q	<p>(がち626さん) トマトは暑さに弱く。酷暑だと傘や日陰でも枯れて3回くらい。プランターですが植え替えしましたが、枯れない方法ありますか？ ペットボトルで常に水やりできるようにしたり。肥料も追肥していました。</p>	<p>A</p> <p>しっかり愛情を与えていたのに、枯れてしまうのは切ないですよね？ 写真を見てないため、解りませんが、水やりで根が傷み、弱った状態で酷暑で絶えてしまったかもしれません。 根が傷むと、葉が淡い色になり、茎が細い状態で成長が鈍化します。 その場合は、水を控え様子を見ましょう。</p>
Q	<p>(hanahahaさん) 畑とプランターで育てていますが、プランターでは栄養が足りないようで数がなりません。肥料のことなど教えてください。</p>	<p>A</p> <p>畑とプランターの違いは、畑は根が自由に伸びるため、肥料や水が吸いやす事、プランターは限られた場所のため、水、肥料が不足がちになる事です。 液体肥料なら毎週、固形肥料なら2空3週間おきにあげましょう。 プランターは、水やりと同時に与えるのがおススメです。</p>
Q	<p>(くんなさん) 連作障害を起こさないためにはどうするか</p>	<p>A</p> <p>連絡障害を起こさないためには、同じ科の植物を植えない事が一般的ですが、プロの農家も連作している方が多数いらっしゃいます。 大半が堆肥をしっかり入れ、土壌消毒を行っています。 太陽光消毒をチャレンジしては如何でしょうか？</p>
Q	<p>(okame115さん) ベランダ、プランターでの栽培のポイント</p>	<p>A</p> <p>ベランダ、プランター栽培のコツは、3つです。 ①日当たりの良いところで栽培する事 ②水やりに注意(あげすぎると根傷み、少ないと成長が止まる) ③室外機の傍に置かない です。水やりは、鉢を持ち上げると不足しているのか解ると思います。</p>
Q	<p>(Ibuchan0325さん) 庭がないのですが、プランターなどを使って育てる場合、どんな野菜が適しているのでしょうか。初心者なので、可能な限り、育てやすい野菜が良いです。</p>	<p>A</p> <p>日当たりが良ければ、トマトがおススメです。 育てやすい野菜として、栽培期間が短い、虫が付きにくいなどを考えると葉野菜、サニーレタスは如何でしょうか？</p>
Q	<p>(erika.fさん) 昨年トマトの栽培をしましたが、実がほとんどつきませんでした。一昨年はきちんと出来たのですが暑さ等は関係ありますか？</p>	<p>A</p> <p>昨年は酷暑でしたよね。 トマトは、夜温が高いと花粉の質が悪くなり、 花が咲いても実が付かなくなります。 ですので、昨年は9~10月のトマトが異常に高かったのです。 昨年、花が咲いていたのなら、花を揺らしたり、トマトーンを使って結実させると良いと思います。</p>
Q	<p>(みどりがめさん) 水やりをあまりしないと、トマトが甘くなると聞いた事がありますが、本当ですか？</p>	<p>A</p> <p>本当です。 水を少なくすると甘くなりますが、実を守ろうと皮が厚くなります。 水を与え過ぎると、味が薄くなります。 バランスが重要です。。。</p>
Q	<p>(baby-ecoさん) ベランダ栽培、途中で順調だったのに、急に枯れてしまうことがあります。 根腐れ？または、水不足？水の加減をどうしたらわかりますか？</p>	<p>A</p> <p>トマトは、水不足で枯れる事はあまり置きません。 根腐れで水が吸えなくなり、枯れたと推測します。 水はけの良い土を使う事、定期的に持ち上げてみると 水が不足しているか足りているか段々と解るようになります。 是非、試してみてください。</p>

Q	(ししどれみさん) 長く収穫するための方法が知りたいです	A	トマトは多年生の野菜ですので、樹が健全で温度があれば、1年以上育てる事も可能です。 長く収穫するためには、病気にならない事、栄養をしっかりと与え続ける事が重要です。人間同様、栄養が足りず、体力が落ちると発病し易くなります。
Q	(Emmyさん) プランター栽培に不向きなものは何ですか？	A	トウモロコシは、プランターで作りにくいです。 ①理由は、肥料を欲する事、 ②複数株植えないと、実が充実しない ③重心が高く、倒れやすい 出来なくはないですが。。
Q	(カジママさん) トマトは雨水があたらない(水が少ないさん)方がおいしく育つと聞いておりますが、何故か、またその加減を知りたいです。	A	トマトに限らず、ストレスとを与えると実を魅力的にしようと甘く、美味しくなるものが多いです。トマトの場合は、甘くなりますが、実を守ろうと皮が硬くなります。バランスが難しいですね。。
Q	(kokuyaさん) コープで購入したミニトマトの種を4月にまき、本葉が3~4本の状態。植え付け後の管理、特に肥料や日々の注意点などを聴きたい。	A	種からチャレンジしているとの事。流石ですね。 苗の高さが20cmくらいになったら、支柱を立てましょう。 肥料は固形肥料の場合は、2~3週間に1回、液体肥料の場合は、毎週与えましょう。
Q	(ぶるーだっくさん) ベランダのプランターでミニトマト栽培始めました。水やりのポイントがあれば教えてください。あげすぎ、土が乾きすぎなどなかなか判断しにくいです。	A	日の当たり方、生育ステージで水やりは変わってきます。水捌けが良く、日当たりがよければ、花が咲いたら毎朝水やりですが、プランターを持ち上げてみると、水が足りているか足りていないか段々と解るようになります。
Q	(ぶーとんさん) 鉢植えの大きさやどのくらいの頻度で水をあげたらいいのか知りたいです。	A	トマトは日当たりの良い場所で鉢に1株植えるのが成功のコツです。20Lで1株が基本ですが、多い方が成功します。
Q	(amigaさん) 野菜培養土を使っても、良くできる年とさっぱりな年があります。何が原因か分かりません。雨が当たると良くないと聞きますのでプランターに植えた時は雨のかからないところに移動したりしますが、動かしたときの振動がトマトにストレスを与えたりしますか？トマトに適した土づくりも教えていただきたいです。	A	昨今、気象変動が激しいため、豊凶の差が大きいですよ。トマトは少し移動した振動等で生育が悪く事はありません。風にあたっているトマトが大半ですから。。 トマトの適した土は、水捌けが良い事、肥料がしっかり入っている事です。栽培期間が長い事から、追肥をしっかりして、健全な樹姿を維持しましょう。
Q	(aoさん) 最も簡単な野菜の栽培は何ですか	A	生育期間が短く、虫が付きにくい点を考えるとベビーリーフは簡単だと思います。
Q	(ボルポリーさん) 種(生協で購入したものさん)から栽培して、発芽、開花までイケたのですが、そこで枯れてしまいました。。プランター栽培で、弱い苗は抜きました。陽当たりは良かったです。水やりも毎日していました。土は、野菜用を使用しました。考えられる敗因、注意点などアドバイスお願いしたいです！	A	断言は出来ませんが、枯れる前に茎がくびれていたなら、苗立枯病です。多湿で発生します。 対策として、野菜用培土ではなく、育苗培土を使う事、保水力があるため、水やりは適期行いましょう。
Q	(サリーTさん) トマトは水を与えない方が甘くなる、と言いますが、実際に葉っぱがしおしおしてくると、水をあげたくくなります。それでも、我慢してあげない方が良いでしょうか？	A	水が少ないと甘くなりますが、皮が硬くなります。更に進むと、樹が成長を止めてしまい、花が咲かなくなります。長く楽しむためには、水は必要です。
Q	(とりさんさん) 昨年プランターで栽培した際に虫に食べられてしまいましたが、今年は失敗したくないので何か気を付ける点を教えて下さい。	A	虫に食べられたとは残念ですね。 虫は、果実を食べる虫は、オオタバコガかヨトウムシだと思います。花の近くに卵を産み付け、小さい幼葉を食べます。そのタイミングで捕殺出来ればベストです。観察する事から、始めると良いと思います。
Q	(noriさん) トマト栽培で、一番苦労するのはどんなことですか？	A	病気です。 日本は湿潤のため、病気が出やすい気候です。 虫の被害は1日で全滅する事はありませんが、病気は1日で蔓延する事があります。
Q	(すがっちさん) わき芽の取り方や花の処理の仕方、ついた実の数を減らして大きくするほうが良いか…など	A	脇芽は、晴れた日に1~2cmくらいで根元から手で取りましょう。ミニトマトは、摘花不要ですが、中玉トマトは1房当たり4個程度、大玉は更に少なくする必要があります。

(マーブルチョコさん)

Q

凛々子を初めから、地植えにするのが望ましいと思うのですが、初めは小さめプランターで、鉢上げをくる返すと、収穫量は増えますか？プランターは20個ぐらいしか取れないとのことですが、途中から地植えにしたら、収穫量は増えますか？

A

最初から、地植えした方が良いです。
株が急激に大きくなると同時に、根も一斉に伸びます。
根に制約を受けると、その後の成長に影響をきたします。
収量を増やすためには、根が広く深く張れる環境を作る事が大切です。